

園だより

12月号 R2・12・1発行 発行責任 内田 佳子

真っ赤だった園庭のもみじもすっかり落ちて、雪がちらちらと舞い、日ごとに寒さが増してきました。雪を見ると目を輝かせて大喜びの子どもたち、雪だるまを作ったり、雪合戦を楽しんでいます。新型コロナウイルスの感染が身近になりつつあり危機感を感じています。いつも以上に手洗い・うがいをしっかりとして早寝・早起きで十分な休息を心がけましょう。



- 16日(水) お楽しみ会
- 21日(月) 幼児部たてわり保育(1月9日金まで)
- 29日(火) 保育終了日
- 1月5日(火) 保育開始日
- 1月13日(水) 新年お楽しみ会(幼児部)

※おもちゃつきは新型コロナウイルスによる感染症予防のため残念ですが中止します

生活発表会

11月21日(土)に発表会が行われました。普段の園生活で楽しんでいる、絵本を中心とした遊びの中から、子どもたちが好きな歌をうたったり、手作り楽器を演奏したり、年長さんになるととび箱、鉄棒、コマ、縄跳び、けん玉の技を劇中で披露したりと成長を感じられる発表になったと思います。お父さんお母さんに見てもらおう喜びと緊張の中ではありますが、暖かい眼差しと拍手に支えられて満足そうな姿でした。新型コロナウイルスの感染が広まる中で開催が危ぶまれましたが、換気や消毒作業、座席指定、クラスごとの入れ替え制とする事で無事に終える事が出来ました。ご協力ありがとうございました。



メディアとの付き合い方 考えてみませんか

ケータイやパソコンがどの家庭にもあるのが当たり前の世の中になりました。子どもがメディアに触れる時間が長くなってきているのだと園で実感するのが週明けの姿です。遊びに取り組みずらふらふらしたり、アニメのヒーローになりきっておもちゃを振りまわしたり、友達に戦いごっこを仕掛けたりという姿が目立ちます。この姿も週の後半になると落ち着きを取り戻すのですが...

お気に入りのビデオを見せないと泣く、朝起きたらすぐにテレビをつける、DVDの操作をしてしまう...。幼児は自分中心の世界を生きているため大人の手を焼く時期です。いたずら盛りのこの時期に、テレビやビデオは実に便利なベビーシッターとなってしまうのです。休日の朝は、子ども番組見たさに早く起きて自分でテレビをつけて見ている子もいるのだとか...。親は休日の朝はゆっくり寝ていたいのでこれを好都合とばかりに見せ放題となってしまう。

乳児期と比べ、ますます自分でやってみたいという意欲と好奇心に満ちている幼児期に、一方的な情報にさらされる時間は、心身の発達を妨げる時間に等しいともいえます。五感を生かしたいいきいきとした生活を保障してあげる事が幼児期には必要なのです。

少し耳の痛い話しですが、家で過ごす時間が長くなるこれからの時期、考えてみてはどうでしょうか。
※「メディア漬け」で壊れる子どもたち(清川・内海共著)参照

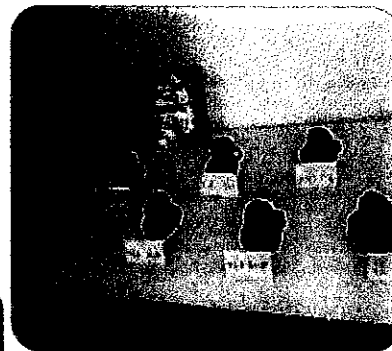
日本小児科医会が2004年に「子どもメディア」の問題に対する提言」を発表しました。子どもにかかわる人々への具体的な5つの提言と小児科医への具体的な行動計画を示しています。5つの具体的な提言は次の通りです。

- ①2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。
- ②授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴はやめましょう。
- ③すべてのメディアへ接触する総時間を制限する事が重要です。1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
- ④子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パソコンを置かないようにします。
- ⑤保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールを作りましょう。



陶芸も完成しました

たんぽぽ組は自然物で模様を付けたお皿、すみれ組は絵本に出てくるおばけのお皿を作りました。世界に一つだけのかわいい作品です



ひまわり組は江別の土を使ったコーヒークップ&ソーサーを作りました、それぞれ個性が感じられる作品です。



年末年始について

給食の発注の関係もあり後日、連絡ノートに出欠の表を貼りますので、お手数ですがご記入をお願いします。幼児部では2週間程度たて割保育を予定しています。

尚、12月30日(水)~1月4日(月)まで、年末年始の休園日となります。

